

# 第2回 有吉佐和子文学賞

## ～今、あなたの感ずるままに～

### 作品募集

あなた自身のこと、世の中のこと、和歌山への想いなど、  
思ったままに、感じたままに表現してみませんか？

和歌山市が生んだ偉大なる作家・有吉佐和子は、若き頃から読書に勤しみ、その生涯において実際に様々な作品を世に送り出し、多くの読者を魅了しました。有吉佐和子のように1つのテーマにとらわれることなく、今思っていること、普段から感じていること、ずっと疑問に思っていること、大切な思い出、将来の夢、今までの自分を見つめなおして考えたこと、そして和歌山への想いなど、あなたの言葉で自由に文章にしてみませんか？

#### 有吉佐和子と和歌山市

有吉佐和子(1931-1984)は、昭和6年1月20日に和歌山市に生まれました。海外でも幼少期を過ごし、8歳で帰国した際に見た青い紀の川の美しさに感動し、20年後に小説「紀ノ川」を発表。

他にも「助左衛門四代記」「華岡青洲の妻」など、ふるさと和歌山を舞台とした多くの作品を著しました。また、社会派小説「複合汚染」「恍惚の人」や歴史小説「和宮様御留」、ミステリー「悪女について」「開幕ベルは華やかに」など、創作活動は幅広いジャンルに及びました。

さらに、その多才ぶりは小説にとどまらず、ルポルタージュや演劇の脚本・演出等広く才能を發揮し、いずれの分野においても高い評価を受け、一時代を築きました。

いまなお読者を惹きつける有吉佐和子の作品群は復刊も続き、あらゆる世代に読み継がれています。

応募締切 令和7年1月31日（金）

和歌山市では令和4年6月に、有吉佐和子が旺盛な創作活動を行い、ベストセラーソノラのすべてを執筆した東京都杉並区の邸宅を復元した有吉佐和子記念館を紀の川のそばに開館し、資料展示などにより氏を顕彰しています。本文学賞が有吉佐和子記念館とともに、多くの皆様方に創作の喜びや楽しさを感じていただき、さらに有吉作品をはじめとする「文学」の魅力に触れていただく一助になれば幸いです。ふるさと和歌山のような温かい、そして末永く愛される文学賞となることを願います。

主催：和歌山市

## 第2回有吉佐和子文学賞 募集要項

## ■ 応募資格

中学生以上

募集内容

エッセイ

※テーマは問いませんので、ご自由にお書きください。

應募方法

郵送、持参またはメールのいずれかで応募してください。

- ・郵送または持参の場合は、作品に応募用紙を添付してください。持参される場合は市役所閉庁日を除く、平日8時30分から17時15分の間に市役所10階文化振興課の窓口へ直接お越しください。
  - ・メールの場合は、件名を「有吉佐和子文学賞」として、作品を添付し、本文に応募用紙と同じ内容を記載してください。

応募締切

令和7年1月31日(金)

- ・郵送の場合 必着
  - ・持参の場合 17時15分まで
  - ・メールの場合 当日受信分

管

入賞は最優秀賞 1編、優秀賞 1編、佳作 5編、奨励賞 若干数とし、入賞者には、表彰状および副賞として以下の各金額相当の図書カードを贈呈します。

最優秀賞	1編	50,000 円
優秀賞	1編	30,000 円
佳作	5編	10,000 円
奨励賞	若干数	5,000 円

※審査結果により、該当作品がない場合があります。

※奨励賞は中学生および高校生の作品のみ対象です。

発表

入賞者に直接通知するとともに、和歌山市ホームページで5月中旬頃に結果を公表する予定です。

※入賞作品発表時には、氏名および居住地(市町村まで)を公表します。  
(中学生および高校生の方は校名、学年を公表します。)

■ 表彰式

令和7年6月1日(日)に有吉佐和子記念館で開催する予定です。

(六〇〇組)

#### ■応募先および問合せ先

〒640-8511 和歌山市七番丁23番地  
和歌山市文化振興課 有吉佐和子文学賞係

Tel : 073-435-1194

E-mail : [bunkashinko@city.wakayama.lg.jp](mailto:bunkashinko@city.wakayama.lg.jp)

◆ 底墓用紙 ◆

フリガナ 題名			
フリガナ 氏名		学校名(学年)	( 年)
住所	〒		
電話番号		生年月日	西暦 年 月 日
E-mail アドレス (お持ちの方)			
今回の募集を 知った方法	1. ポスター・チラシ(知った場所: 3. インターネット(サイト名: 7. その他( ) 2. ホームページ ) 4.新聞 5. ラジオ 6. 市報わかやま )		